

発行：河内長野市医師会地域連携室（まのれんけい室）

令和元（2019）年5月・第43号

◇新しい元号「令和」 ～新しい御代を寿ぎ、新しい信義ある時代の幕開けを！～

万葉集巻五「梅花の歌三十二首并せて序」天平二年正月十三日に、帥老の宅に萃（あつま）りて、宴會を申（の）ぶ。時に、初春の令月にして、氣淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披（ひら）き、蘭は珮後（はいご）の香を薫す。<現在語訳>天平二年正月十三日（西暦 730 年2月8日）に、大宰府（長官）の大伴旅人邸に集まり、梅花の宴を開く。季節は、初春のよい月で、大気もよく風も穏やかになり、梅の花は鏡の前に座る美女たちが化粧に使う白い粉のように白く開き、蘭は身にまとう装飾品の香りのように薫っている。>

なお、「令和」の新聞号外（産経）を入手しました。縮小コピー（1面のみ）希望の場合は、地域連携室迄連絡を！

第45回「在宅サロン」（講演）・第4回「在宅サロン“ミニ”」（懇談）：4月20日（土）午後2時30分～

人生の最終段階における医療と介護の連携シリーズとして開催。講師は、木澤義之先生（神戸大学医学部附属病院緩和と支持治療科特命教授）で、演題は「アドバンス・ケア・プランニング ～いのちの終わりについて、話し合いをはじめ～」。続いて、木澤先生を囲んでの在宅サロン“ミニ”が行われ、質疑応答等があった。この中で、同先生からは、ACPについて、色々な局面・状況でのアドバイスがあるとともに、「色々な人やチャンネルを通じて、情報を集め、ぜひその情報を共有してほしい」との呼び掛けがあった。<於・河内長野市医師会館3階>

なお、次回「在宅サロン」は、10月26日（土）午後2時30分からで、講師は花田一志先生（近大）の予定。

☆「終活」に関するお知らせ☆ ～ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の愛称は、「人生会議」に～
(1)超高齢社会における「終活」を理解し、それを実践するために、(イ)「多職種のためのしゅうかつ（終活）ガイドダンス ～今をよりよく、自分らしく生きる～」と、文書のスズメとしての(ロ)「元気なしゅうかつ（終活）マイノート ～自分のために、周りのために～」(河内長野市版エンディングノート)を刊行。今般の法律改正に伴うマイナーチェンジをした修正版を現在配布中。なお、(ロ)はカスタマイズ用のコピー版（ホッチキス止めをしていないもの）の提供も可能。(イ)(ロ)の修正版・コピー版を希望の場合は、地域連携室迄連絡を！

(2)富田林医師会との懇談：4月15日（月）開催（於・富田林医師会館）

富田会長から、「ガイドダンスとマイノートを富田林医師会内でも配りたい」との要請があり、急遽今回の懇談となった。本会からは、作成の経緯、趣旨、内容等の説明を行い、「コミュニケーション・ツールの一つとして、じわじわ広めて行ってほしい」と強調。啓発方法や任意後見などに関する質疑応答等があった

(3)「相続・遺言・後見・信託研修会」：4月10日（水）・19日（金）・23日（火）開催（於・大阪府行政書士会館）

「終活」の一つとして、相続法の改正、遺言書作成の概要、遺産分割協議の要点、任意後見はじめ成年後見制度の必要性、民事信託制度の重要性が強調された。いずれも高齢者支援の一翼を担うものとされ、普及啓発の必要性が謳われるとともに、真摯かつ丁寧な対応が求められた。

(4)相続法の改正等：①自筆証書遺言（書）の方式緩和⇒財産目録のパソコン作成可<平成31年1月13日>、②預貯金の払戻し制度の創設⇒葬儀費用等の払戻し可（相続人の資金需要の便宜に供する）<令和元年7月1日>、③配偶者居住権の新設⇒建物に無償居住可<令和2年4月1日>、④法務局での自筆証書遺言（書）の保管制度の創設<令和2年7月10日>など。いずれも< >内は施行日。

☆第4号ブルーカード・ニュース（別紙）

裾野を広げる活動として、4月3日（水）・17日（水）には協力病院訪問（2ヶ所）が行われた。現在協力病院は11病院だが、今後も医療圏域に捉われず、広域化を目指して拡大を企図していく予定。

☆**地域における“顔の見える”専門職の多職種連携の推進のために！** 顔の見える化活動

(1) **れんけいカフェ**(偶数月の第4水曜日)の第17回は4月24日(水)開催。障害児の「親なきあと」問題やブルーカードシステム等のディスカッションの他、G20大阪サミットの交通規制、厚生労働省、法務省等の資料説明などがあった。第18回は6月26日(水)、いずれも午後2時(会議)から開催予定(申込不要)。当日、何かPRしたいことがあれば、事前に地域連携室迄連絡を！

(2) **プチれんけいカフェ**の第7回シリーズは4月3日(水)開催。テーマは、「10連休の対応・対策 ～そして、今後の連休対策について～」。「10連休に関するアンケート調査」の結果概要等を基に、懇談、意見交換、情報提供があり、特に急変時の対応については、各病院から「救急体制の中で、しっかり受けさせて頂く」との心強い発言があった。一方で、「する時はする。休む時は休む。休みも大事」、或いは「今後、仕事と休みが旨くとれるワーク・ライフ・バランスが進むことを願っている」との意見も出された。

☆【Topics】

○時事通信「10連休に関する世論(個別面接)調査」(3月8日～11日実施):10連休には、「うれしくない」が4割を超え、それを年齢別に見ると、30歳代で46.9%、40歳代は45.9%に上った。「うれしくない理由」(複数回答)を聞くと、「仕事をしていないので関係ない」が28.0%で最多、「仕事を休めそうにない」が19.3%、「家事などの負担が増える」が10.8%、「仕事に支障がある」が9.6%など。一方、「今後も国が主導して長い連休をつくるべきか」との問いには、「そう思う」の29.9%に対し、「そう思わない」が66.8%であった。

☆**関わり事例の窓**4：医療介護・成年後見等で相談があれば、地域連携室迄連絡を！

○関わり事例：①60代⇒暴言があり、困っていると。3月15日(金)から対応中。②80代⇒様子がかわってきたと。4月5日(金)対応。③90代⇒セルフネグレクトがあり、衰弱していると。4月25日(木)から対応中。④専門職相談：1件 <以上、詳しい病状等は略>

◇**河内長野市ケアネットワーク会議総会**：4月12日(金)開催(於・河内長野市役所)

各部会の平成30年度活動報告、今年度役員の選出、各機関からの連絡事項など。本会からは、チラシ等に基づき、ブルーカードシステムに関する啓発、地域連携室等の業務紹介を行った。

◇**河内長野市との懇談**：4月18日(木)に市民保健部担当者と諸施策等について意見交換。

□**「バリアフリー・慢性期医療展・看護未来展・在宅医療展2019」**：4月18日(木)～20日(土)開催(於・インテックス大阪)
地域包括ケアシステム構築を目指して、「介護保険法等の動向について」などの講演等が開催された。

□**河内長野市医師会認知症部会**：第3回4月18日(木)開催(於・河内長野市医師会地域連携室会議室)

経過報告、意見交換等が行われた。石倉先生からは、「かかりつけ医のための認知症マニュアル」(仮称)の作成提案があり、原案が説明された。他に、大阪府内認知症サポート医一覧※(大阪府等ホームページに掲載中)、厚生労働省高齢者虐待資料等の提示など。なお、**第4回**は6月13日(木)午後3時から、**地域連携室にて開催予定(別紙)**。※同一覧を希望の場合は、地域連携室迄連絡を！

4月22日(月)には、今年度初の「おれんじチーム」のチーム員会議があった。

☆河内長野市医師会地域連携室 <TEL：54-1700 FAX：54-1567>

(まちのれんけい室)

<メールアドレス：chiikirenkei4@kawachinagano-ishikai.com>

～ブルーカードシステム(病状急変時対応システム)推進のために～

令和元(2019)年5月1日

◇総務省消防庁「平成30年救急・救助の現況」(平成31年1月11日)の概要(全国)◇

♡大阪府・大阪市副首都推進本部会議「救急機能の検討状況」(平成30年1月26日)♡

□搬送者のうちの高齢者割合:58.8%(337万人強)

□救急車による現場到着時間(入電から現場到着):8.6分 ←大阪府7.6分

□病院収容所用時間(入電から医師引継ぎ迄):39.3分 ←大阪府36.2分

□不搬送件数(拒否、現場処置等):100件中9.5件 ←大阪府13.4件(ワースト1)

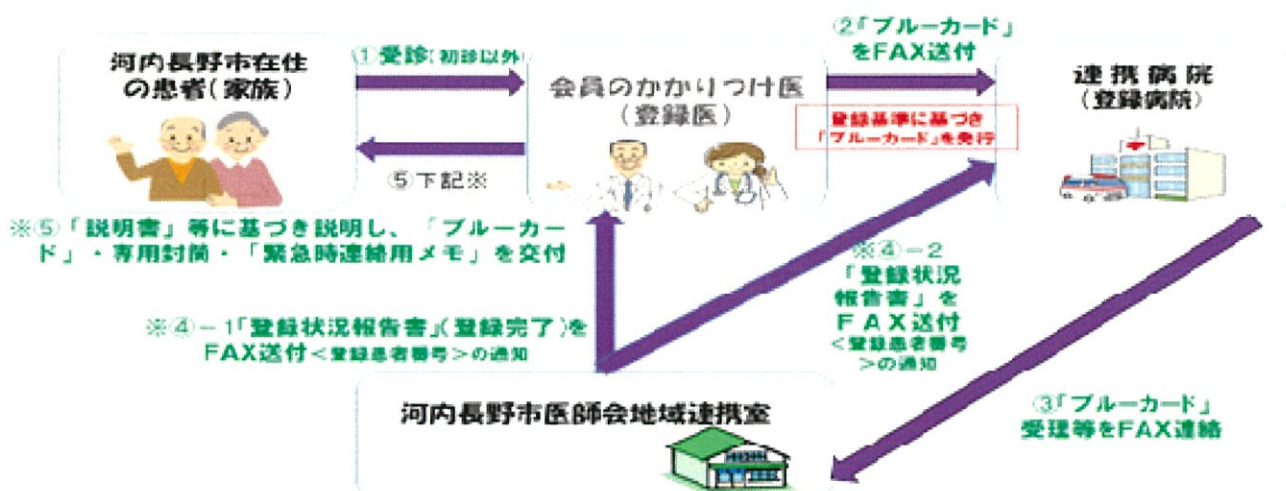
◇河内長野市消防本部:救急車両4台・救急隊3隊・救急隊員27名・救命救急士21名

＜池田市消防本部:救急車両4台・救急隊3隊・救急隊員67名・救命救急士22名＞

⇒大阪府は比較的救急パフォーマンスは高いが、不搬送件数が多いのが課題。



「ブルーカード」発行(新規)



☆「ブルーカード」は、本人・キーパーソン・主治医がわかる医療用の「パスポート」です。「医療情報提供書」や「事前表示書」(リビングウィル)ではありません。

<p><これまでの運用状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ブルーカード」発行:168件(再発行等含む) ○「ブルーカード」発動:33件 (うち救急隊出動23件) ○キーパーソン:娘・嫁(47%)、息子(24%)など 	<p><登録医>(医師会員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ブルーカード」を発行するのは、医師会員である「登録医」となります。 ○現在登録医41名・登録医療機関35機関(うち「ブルーカード」を発行した登録医は27名)
<p><6連携病院> 榎本病院、さくら会病院、沢田病院、大阪南医療センター、岡記念病院、寺元記念病院</p>	
<p><11協力病院> 近畿大学医学部附属病院、阪和いずみ病院、ベルランド総合病院、大阪はびきの医療センター、城山病院、藤本病院、田辺脳神経外科病院、老寿サナトリウム、滝谷病院、青山第二病院、てらもと医療リハビリ病院</p>	
<p><登録医の先生へ> ☆ブルーカード携行⇒ブルーカード有を意思表示</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本人・家族に、救急の際、救命救急士・連絡窓口に、必ず「ブルーカード」を保持していることを告げるよう、強調して説明頂きますようお願い申し上げます。 ○ブルーカードに関するチラシ(市民啓発用)を作成しました。希望の場合は、地域連携室迄連絡下さい。 	

令和元年5月1日(水)

会員各位

一般社団法人河内長野市医師会
会長 中 林 才 治
理事 宮 崎 浩

第4回河内長野市医師会「認知症部会」の開催について

謹啓 薫風の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

本会では、認知症問題に関して、診診連携をはじめとする各種連携体制の推進を企図し、誰もが、安全で安心して暮らせる令和の新しい時代を現出すべく、認知症部会(以下、「本部会」)を設置しております。

また、本部会では、認知症に関する事例検討を行っておりますので、何か報告したい、或いは検討してほしい事例がございましたら、事前に地域連携室までお申し出下さい。

業務ご多端の折、誠に恐縮ではありますが、下記の通り本部会を開催いたしたいと存じますので、ご出席を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。なお、参加の申込みはございません。当日直接、地域連携室会議室までお越し下さい。 謹白

記

- ☆日 時 6月13日(木)午後3時～(約1時間の予定)
- ☆場 所 河内長野市医師会地域連携室会議室(河内長野市菊水町2-13)
- ☆次 第 1. 開会・挨拶
(予定) 2. 報告・説明
3. 事例検討
4. その他
5. 閉会

※5月はお休みとなりました。駐車スペースあります。

☆連絡先：河内長野市医師会地域連携室

TEL 0721-54-1700

FAX 0721-54-1567

メール chiikirenkei4@kawachinagano-ishikai.com